



大城 勇太 議員

南風原町に 天然温泉施設を

答 天然温泉施設を整備することは難しい

問 体を温めることは万病予防である。国保の赤字緩和に天然温泉施設の整備ができないか。

町長 他にも課題は山積している。なかなか難しい。

本町の農業について問う

問 本町の農業従事者はどれくらいか。

町長 農業従事者は1148人となっている。

問 高齢化している農業者、担い手不足の対策等はあるか。

町長 J Aおきなわ津嘉山支店と意見交換会を行い、農業次世代交付金事業、沖縄県就農一貫支援事業等を活用している。

問 本町に無農薬野菜の栽培農家はどのくらいいるか。

町長 無農薬野菜の栽培農家は把握していない。自然農法の栽培農家が1件ある。

問 母牛購入補助はあるが、養豚農家に種豚導入の補助金はあるか。

町長 平成24年〜28年まで県の一括交付金があったが、現在補助金はない。

町内小中学校における問題について

問 10年前に比べ、現在では35%もランドセルが重くなっている。小学1年生でも平均8キロで、一番重い子が平均体重の2分の1近い9.7キロもあると聞いた。東京の小学校低学年では全ての教科書を学校に置き、4、5年生になると持ち帰るようになる。文科省が認めている置き勉について、どう考えるか。

教育長 各学校において水彩道具の学習用具を教室のロッカーで保管することなど配慮がなされている。

問 現在3〜4年に1人、5〜6年に1人、計2人の学習

支援員の配置がある。2人と週に各クラス2回程度しか回れない。各学年に支援員の配置ができないか。

教育長 支援員は児童生徒の基礎学力を定着させる目的で配置している。平成30年度は小学校が全国平均を、中学校は県平均を上回っている。引き続き2人の学習支援員を予定している。

問 県外派遣費の拡充はできないか。

教育長 財源が確保できるように検討する。



10kg 近いランドセル。腰を痛める子もいるという

こんな質問もしました

○町内の河川環境対策について